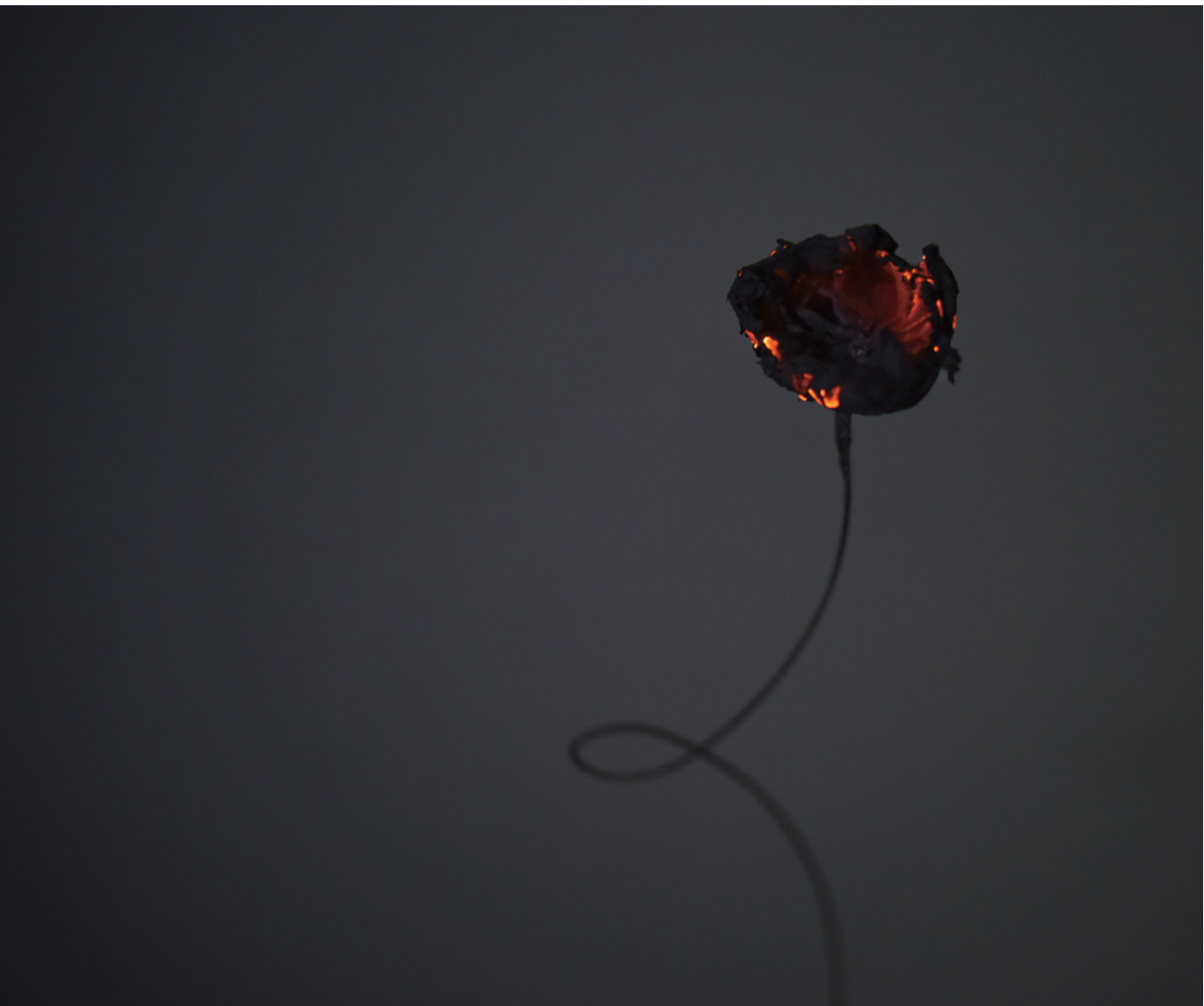


# 日々の中に火を眺める時間をつくる

Enjoying The Beauty Of A Flame In Everyday Life

伊藤 可南子

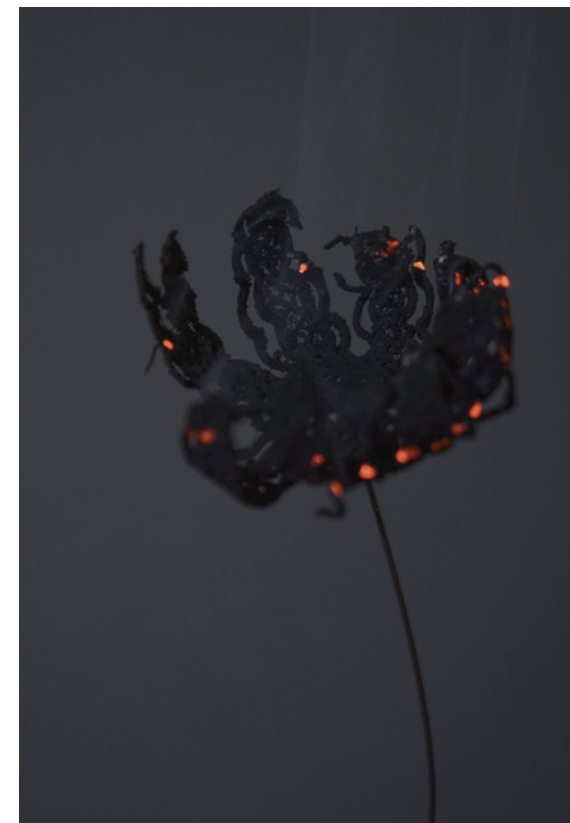
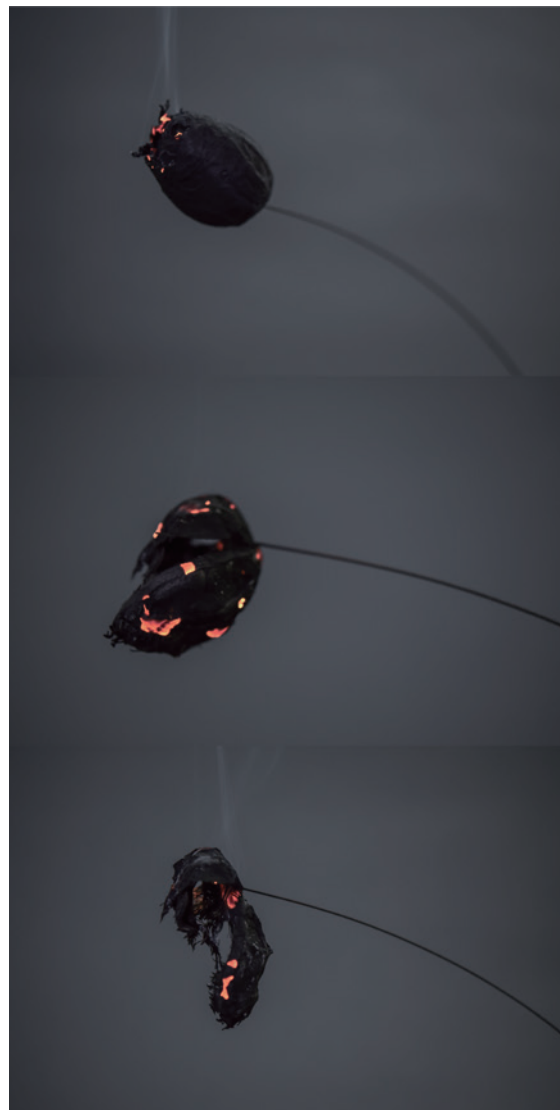


## ゆらめき、朽ちていく。

和紙と糸、そして墨で作られたこの作品は、花に火を灯すと残り火が揺らめき咲くように広がってゆき、そのまま朽ちるように形を変え、やがて灰となる。いのちの始まりと終わりのような刹那的な表情をみせ、忙しい日々の喧騒から離れたゆるやかな時の流れを創り出す。

## Wavering And Decaying

When you light a flower made of washi paper, thread, and ink, glowing embers flicker and spread like a bloom. Eventually, it will change its shape as if it were decaying, turning to ashes and falling. This expression is just like the beginning and end of life.



火と人の関係を見つめ直し、眺めたくなる情緒的な表情を探究した。墨、和紙、綿糸、でんぷん糊を用いたそれぞれの成形方法により3種違った表情が生まれる。

1 残り火がゆらめき朽ちていく。  
2 糸の花がほどけ、花開く。  
3 パチパチと火花が弾け、輝く。  
(◀左から数字順)

Movie  
<https://youtu.be/sfW7IVpkmm4>

